

## 第23回企画委員会議事要旨

日時 2021年7月28日 18:00～20:00

場所 ズームにて開催

出席者

駒村委員長、朝日委員、有村委員、池田委員、奥田委員、久保寺委員、西岡委員、丸物委員、村木委員、岡崎委員(全体委員会メンバー)  
(上記以外の出席者)日本財団、ダイバーシティ就労支援機構

議事内容

### 1. プレス等リリースについて

#### (1) 事務局説明

- WORK! DIVERSITY プロジェクト2020年度報告書と、3月実施の就労支援機関アンケート調査集計結果につき、8月中旬目途で公表したい。前者では、ダイバーシティ就労支援プロジェクトが本格的に動き出した、2020年度ではこうした成果を挙げた、とアピールしたい。後者では、ダイバーシティ就労支援の重要性が高まっていることをデータで示したい。

#### (2) 意見交換

- 就労支援機関アンケート調査に協力していただいた事業所には、調査結果の送付やその後の情報提供等をお願いしたい。

### 2. 各部会の状況報告

#### (1) 事務局説明

- ネットワーク構築検討部会、横断的支援方策検討部会については、3(今後の企画委員会の役割と2つの部会との関係)で議論したい。
- 海外部会については、2021年度は2019～2021年度3年間の検討の集大成の年、いわゆる最後の年ということにし、海外主要国の状況をわかりやすくまとめたい。基本概念の解説、日本との比較を交えたまとめた総論も用意したい。
- バランス部会については、2021年度は、2つのアンケート調査(2020年度の障害者支援以外の就労支援機関に対する調査、2021年度の障害者向けの就労支援機関に対する調査)を活用した推計作業等を考えている。

#### (2) 意見交換

- 地域のダイバーシティ就労支援の取組みは、行動力があふれるスーパースターのな者でなくともできるようなものにしてほしい。

### 3. 今後の企画委員会の役割と2つの部会との関係について

#### (1) 事務局説明

- ダイバーシティ就労支援地域プラットフォーム、同全国プラットフォームの役割、企画委員会と2つの部会(ネットワーク部会と横断的支援部会)の関係については、活発な議論をお願いしたい。今回の議論を踏まえ、次回メモを提示し、再度議論をお願いしたい。

#### (2) 意見交換

##### 1) 地域PF(プラットフォーム)への支援以外の全国PFの役割・事業

- 地域PFへの支援以外の全国PFの役割・事業の整理が急がれる。
- 求心力が大事。お金なのか制度的枠組みなのか。
- 地域プラットフォームの構築には時間がかかる。当面は、支援機関にどのようなサービスを提供できるかが大事。

##### 2) 地域プラットフォームのイメージ

- 全国プラットフォームが何をするのかの明確なイメージをまとめるべし。また、地域プラットフォームは、既存のネットワーク活用なのか新たに作るのか。
- 生活困窮、LGBT等それぞれネットワークを持っている、そこからプラットフォームを構築する、その際の視座、方法を整理することが重要。
- 地域プラットフォームは、この人をどうするか、個別ケースを扱うかどうか重要。複合的な個別支援計画を作るべきである。
- 地域により事情が異なるので、理念整理だけでは駄目。

##### 3) 横断的支援部会の検討分担

- 横断的支援部会では、アセスメント、介入の視点・タイミング、環境調整等を具体的に示すことが重要。理念よりツールづくりが大切。
- 横断的支援部会でのアウトプットのイメージはまだ明確でない。引きこもり等当事者の立場で課題等を明確にし、同時に横断的視点で考えていけばいい。

##### 4) 横断部会とネットワーク部会の関係

- 地域における就労支援の考え方はネットワーク部会。態様別の対応は横断的支援部会か。
- 同じものを上から見ているか、横から見ているかの話しではないか。時々の共同審議を含め、情報共有が大事。
- 議論を整理しながら着実に進んでいくことが重要。
- ネットワーク部会、横断的支援部会がお互いに注文を出し合えばいい。
- 全国プラットフォームの役割等、ネットワーク部会と企画委員会、行きつ戻りつでまとめる。始めから完成形を求めなくていい。当面できることは何か、それを実施していくことが重要。